

ビルトイン型浄水器 浄水器専用水栓

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「取扱説明書の袋」に入れてお客様にお渡しください。

JF-WA501-JG(JW)型

1. 施工の前に

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客様に引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明

- 警告** ... 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
- 注意** ... 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
-  ... 「注意しなさい!」(上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
-
-  ... 「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
-  ... 「分解してはいけません!」
-  ... 「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

注 意

	修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。 ※ケガををしたり、故障・破損の恐れがあります。	
	水道水の飲用基準に適合した水をお使いください。 ※体調を損なう恐れがあります。	
	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
	お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。	
	凍結の恐れがある場所では使用しないでください。	
	各接続部は水漏れのないように確実に接続してください。	
	吐水口は手や布巾でさわらないでください。 ※残留塩素を除去しているため、雑菌が繁殖しやすくなり、体調を損なう恐れがあります。	
	水栓先端への他の器具の接続や、他の浄水器との併用はしないでください。	

- 浄水カートリッジの常用使用圧力は0.06MPa(流動圧)～0.35MPa(静水圧)です。
- 取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取り付けできない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

本製品の仕様と使用条件

使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)	
使用環境温度	0～35℃ 但し、内部の水を凍結させないでください。	
給水給湯接続	G1/2	
圧力条件	0.05MPa(流動圧)～0.75MPa(静水圧) 給水圧力≧給湯圧力	
取付条件	水栓取付穴：φ37±2mm	カウンター厚：6～30mm

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

その他の条件

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.20～0.34MPa)に減圧してください。

施工前のご注意

取付に必要な工具

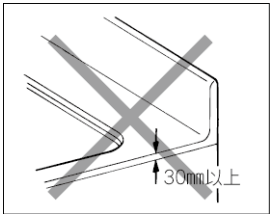
- 取付には別売の専用工具KG-9(対辺38)、プラスドライバー、モンキーレンチが必要です。

止水栓と点検口を設けてください。

- 取付後の流量調節及び保守点検のために、必ず止水栓と点検口を設けてください。
- 使い勝手や性能発揮のために **流量調節をしてください。** 特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと漏水・破損の恐れがあります。

その他の注意点

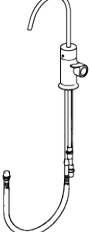
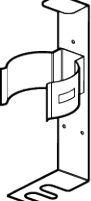
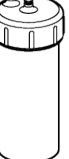
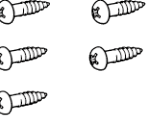
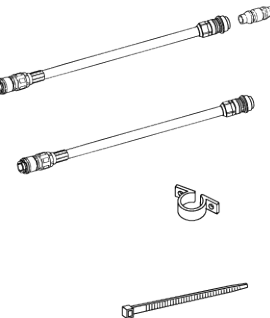
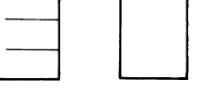
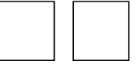
- 施工を始める前に、お買い求めいただいた箱の中身を下記部品梱包明細表で確認してください。
- 保証書には、店名および取付日を必ず記入してください。
- 給水は、上水道に接続してください。
※温泉水など異物を多く含む水には、使用できません。
- 商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
- 開梱・取付けの際には、商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず **配管中の異物を完全に洗い流してください。**
- 取付カウンター厚みが30mm以上の場合は取り付けできません。



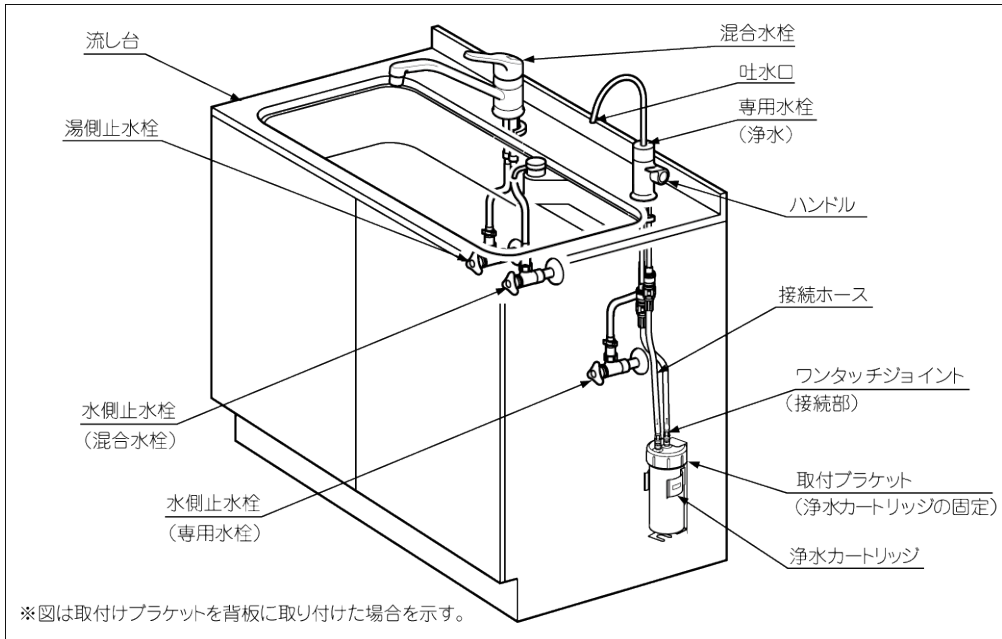
- 給水水温は35℃以下でご使用ください。
※35℃以上では浄水器の機能が十分発揮されません。
- カウンター裏面の補強板は珪酸カルシウム板以外の材料としてください。
※本体固定不良の原因となります。裏面の補強板は、木質系のボードとしてください。
※珪酸カルシウム板に対応するためには、A-3811(別売部品)が必要です。

部品梱包明細表

下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。

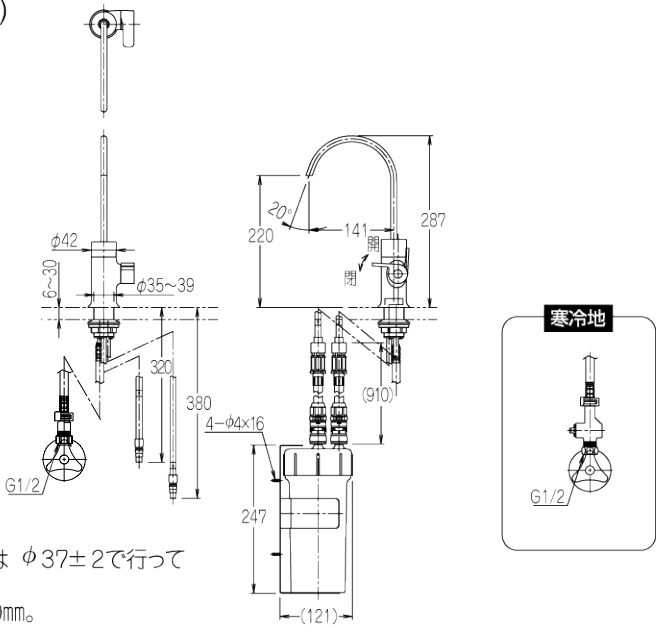
	専用水栓 1コ		取付ブラケット 1コ
	ソケット 1コ ストレーナー付 パッキン 1コ		浄水カートリッジ 1コ
寒冷地仕様の場合 	水抜き式逆止弁付 ソケット 1コ パッキン 1コ		タッピングネジ (取付ブラケットに付属) 5本
	接続プラグ 1コ 接続ホース 2本		取扱説明書 施工説明書 (本書)
	ガイド 1コ 結束バンド 1本		両面テープ 2枚

施工完了図



商品図

JF-WA501-JG(JW)



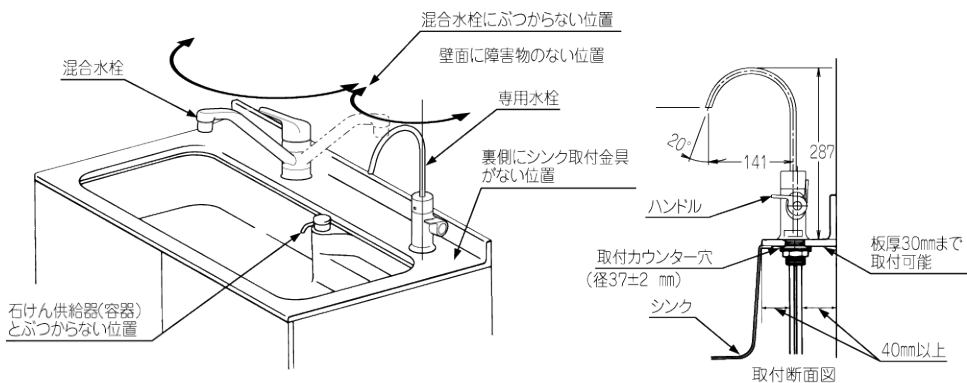
※カウンター穴あけ寸法は $\phi 37 \pm 2$ で行ってください。
カウンター厚 は6~30mm。

2. 施工方法

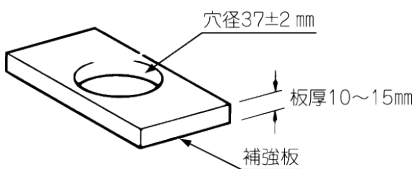
1 専用水栓の取り付け

同梱の部品以外は使用しないでください。
各接続部は水漏れのないように確実に接続してください。

- 専用水栓の取付位置を決めます。
- 下図を参照し、正しく取付位置を決めてください。なお、専用水栓は、混合水栓の左側に取り付けることも可能です。
取付位置確認後、取付カウンターに穴径 37 ± 2 mmの穴あけをします。



- ステンレス製の取付カウンターで補強板がない場合は補強板を取り付けてください。

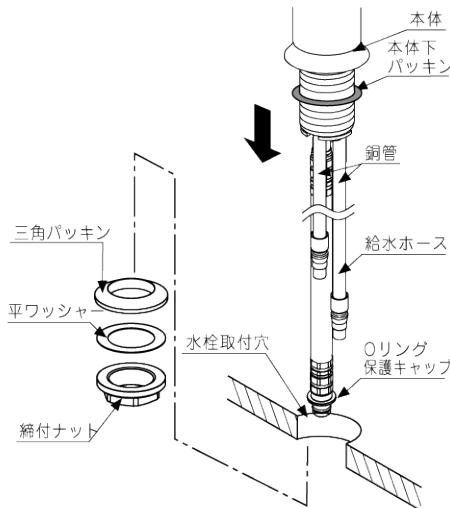


2 専用水栓の取付け

- 水栓本体についている締付ナット、平ワッシャー、三角パッキンを取り外し、給水ホース・銅管を水栓取付穴に挿入します。

注意

- Oリング保護キャップはソケットと接続するまで取り外さないでください。
※Oリングに傷がつき、漏水する恐れがあります。
- 施工中、本体を倒さないでください。
※ミラーなどを破損してケガをする恐れがあります。



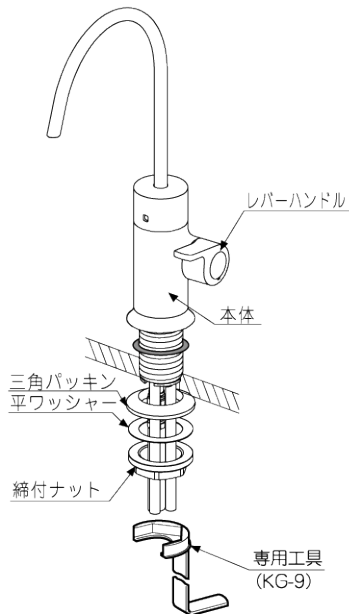
- レバーハンドルを正面に向けた後、専用工具KG-9にて締付ナットを締め付けて、カウンターまたは陶器に固定します。

注意

- 別売りの専用工具(KG-9)を使用し、しっかりと締め付けてください。
※漏水する恐れがあります。

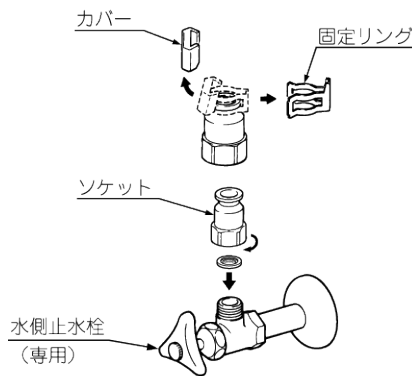
ポイント

水栓本体下のパッキンが水栓の台座からはみ出さないように施工する。



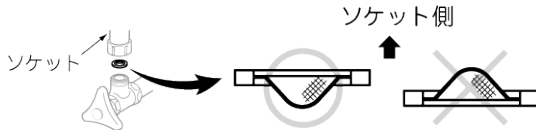
- ソケットから抜け止めカバー、固定リングの順に取り外します。

- 止水栓にソケットを取り付けます。



注意

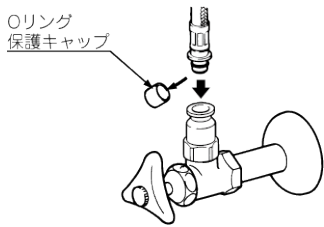
- ストレーナー付パッキンの向きに注意してください。
※正しく取り付けられていないとゴミが詰まりやすくなり、流量が少なくなることがあります。



5. フレキホースのOリング保護キャップを取り外し、ソケットに差し込みます。

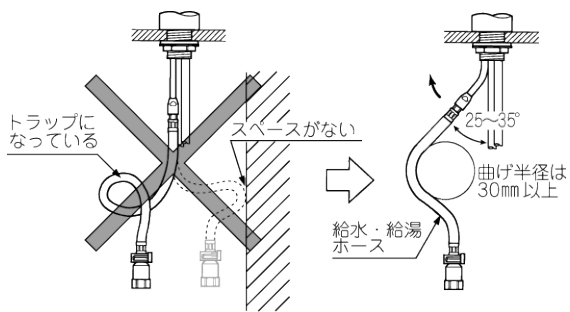
注意

- Oリングにキズをつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。漏水の原因になります。
- フレキホースを曲げる場合は、曲げ半径を30mm以上確保してください。無理に曲げるとホースが損傷し、漏水の原因となります。



ポイント

フレキホースの長さが余り、ホースが無理に曲がるなどの不具合を生じるときは、水栓の銅管を曲げ、ホースの曲がり方を調節してください。



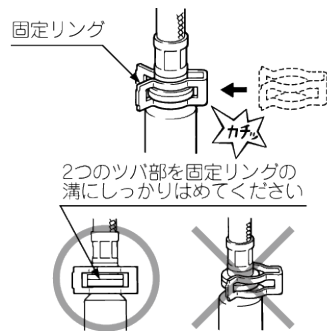
6. 固定リングをフレキホースとソケットの接続部(ツバ部)にはめ込みます。

注意

誤って取り付けると漏水の原因となりますので、確実にはめ込んでください。

確認

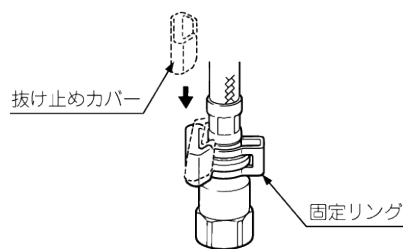
フレキホースを下に引き、確実に接続されていることを確認してください。



7. 抜け止めカバーを固定リングにはめ込みます。

注意

- 固定リングが外れると、漏水の原因となりますので、必ず、しっかりとはめ込んでください。
- 直接固定リングに手を触れるとケガをす恐れがあります。抜け止めカバーを必ずはめたままにしてください。



3 水栓と接続ホースの接続

2本の接続ホースを水栓の銅管に貼ってあるシールの色とワンタッチジョイントのスライダーの色を合わせて接続します。

※接続ホースの先は水栓接続側、浄水器接続側が決められています。間違っていると接続できません。正しく取り付けてください。

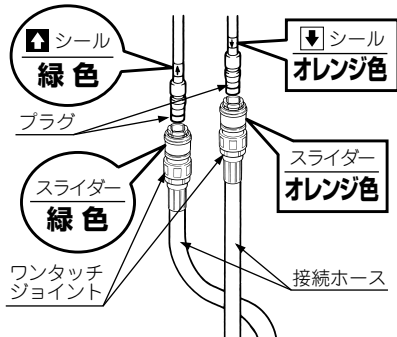
1. 水栓接続側のワンタッチジョイントを、プラグに「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。

確認

各接続ホースにねじれがなく、各接続ホースを引っ張っても外れないことを確認してください。

ポイント

取り外すときは、スライダーを下げながらワンタッチジョイントを下に引っ張ってください。

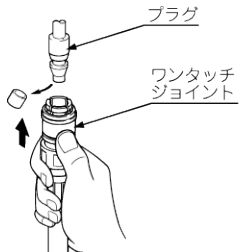


※結束バンドは必要に応じて、接続ホース同士を接続するのにご使用ください。

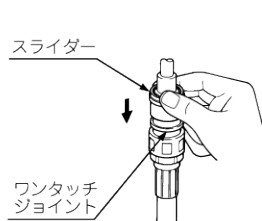
2. 水栓の銅管に貼ってあるシールの色とワンタッチジョイントのスライダーの色が同じになっていることを確認します。

※正しく取り付けられていないと、浄水器が正常に機能しません。

取り付ける場合



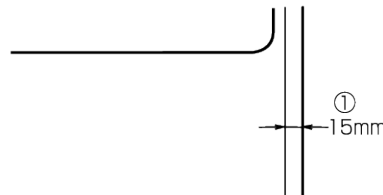
取り外す場合



4 浄水カートリッジ取付ブラケットの取付け

キャビネット内側面固定の条件

- ①板厚が15mm以上である
- ②側面に扉や引き出し等の干渉物がない

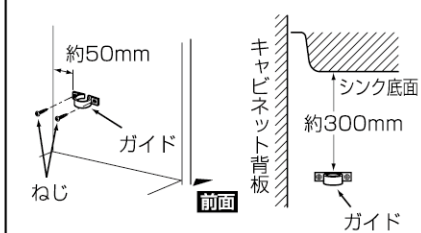


【条件にあてはまる場合】

1. ねじで取付ブラケットとガイドを指定の位置に固定する。

ガイドの取付け

床と平行になるように固定し、まわりに障害物(スライド収納等)がある場合は、干渉しない位置に調節する。

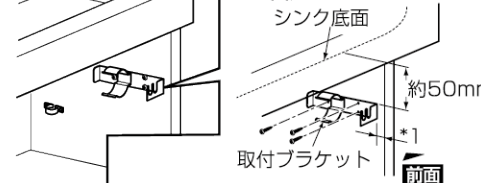


ポイント

ねじが差し込みにくい場合は、両面テープを一枚使用し、仮固定した後、ねじを固定する。

取付ブラケットの取付け

切りかきがある方を前面に向けて固定する。



*1:キャビネット内側面が水側止水栓から300mm未満の場合は約30mm、300mm以上の場合は約100mm

切欠きはカートリッジ交換の際、浄水ホースを引っ掛けておくためのものです。

取付ブラケットの切欠き



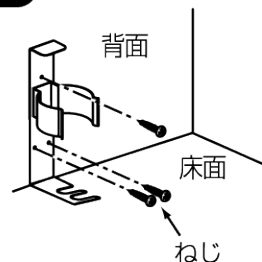
【条件にあてはまらない場合】

1. ねじで取付ブラケットとガイドを指定の位置に固定する。

背板に固定する場合

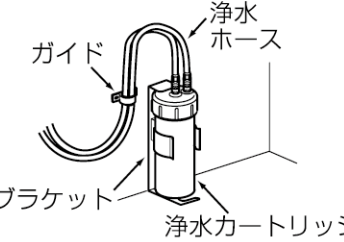
メインバルブ、浄水バルブから浄水ホースが届く範囲で取付ブラケットを床板上に置き、背板に固定する。

※背板の板厚が薄い場合は、両面テープで固定してください。



ポイント

床上の背面に取付ブラケットを固定した場合は、ガイドは必要に応じて取り付けてください。



※床上の場合の取付例

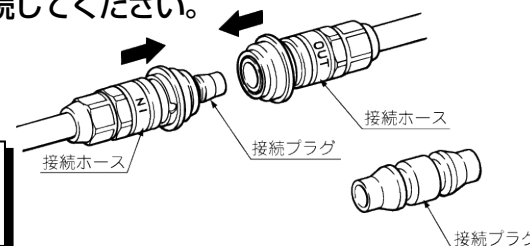
5 浄水カートリッジの配管接続

【施工後、お客さまがすぐに使用しない場合】

接続ホースを付属の接続プラグに接続してください。

確認

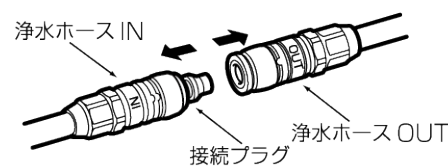
いちばん奥まで確実に差し込まれているか確認してください。



- ※浄水カートリッジは取り付けず、そのまま、お客さまにお渡ししてください。
- ※後述の通水、水漏れ確認は接続プラグを接続した状態で行ってください。

【施工後、お客さまがすぐに使用する場合】

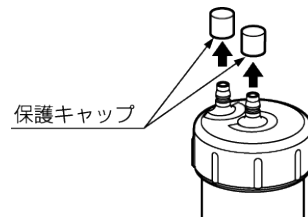
1. 浄水ホースを接続プラグ先端の保護キャップを外します。



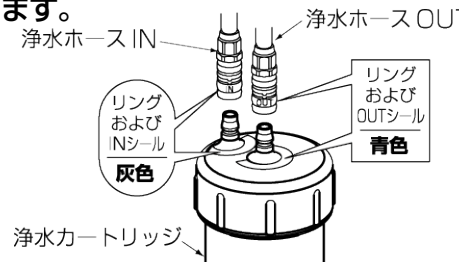
接続プラグ

※接続プラグは、浄水カートリッジ交換時、および浄水カートリッジをご使用にならない場合に使用しますので、施工説明書、取扱説明書とともにお客さまにお渡ししてください。

2. 浄水カートリッジのプラグ先端の保護キャップを外します。



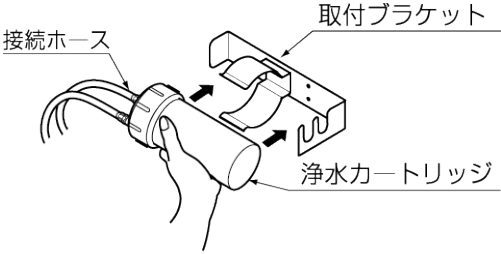
3. 浄水カートリッジに貼ってあるシールの色と浄水ホースのワンタッチジョイントのリングの色を合わせて接続します。



4. 浄水カートリッジを取付ブラケットに固定します。

注意

接続ホースが折れ曲がったり、ねじれないように注意してください。
※漏水の原因になります。



※取扱説明書の「交換月表示の変更方法」をお読みのうえ、次回交換月の設定をしてください。

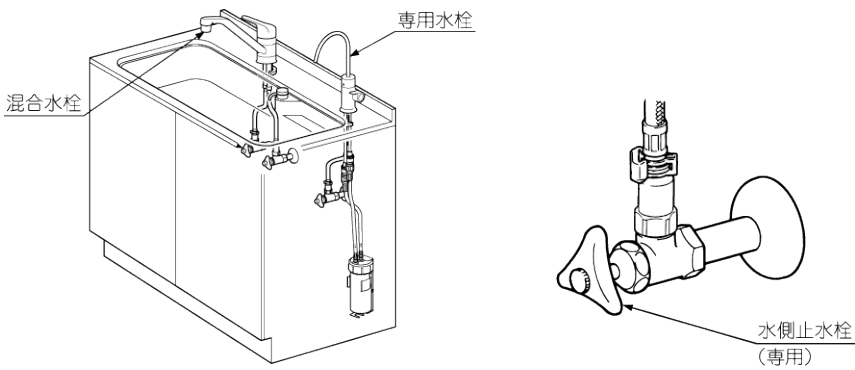
3. 施工後の調節

1. 通水、水漏れ確認

以下の手順で通水作業をし、水漏れのないことを確認してください。

注意

●浄水カートリッジを装着して通水確認をしないでください。
●配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。



1. 接続ホースが接続プラグでつながれていることを確認します。
2. 専用水栓のハンドルが止水の位置にあることを確認します。
3. 止水栓を開け、専用水栓のハンドルを開けて通水し、配管内のゴミなどを出したのち各接続部からの水漏れがないことを確認します。

2. 流量調節（標準の浄水吐水量調節）

【施工後、お客さまがすぐに使用しない場合】
浄水カートリッジ取付時に次の項の方法で実施してください。

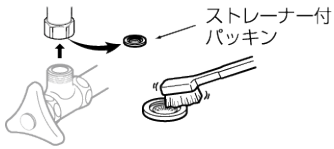
【施工後、お客さまがすぐに使用する場合】

1. 通水、水漏れ確認を実施して、配管内のゴミなどを十分に出してください。
※工事直後の水を浄水器に流すと、目詰まりの原因になります。
2. 浄水カートリッジを接続します。
(施工方法6.浄水カートリッジ配管接続の項参照)
3. 浄水吐水量が適正流量となるように、止水栓を調節します。
※ハンドルをいっぱいに開けたとき、4ℓ/分程度（500mlの容器を一杯にするのに8秒）流れるくらいに調節してください。
4. 浄水カートリッジの空気を抜きます。
※空気抜きと浄水能力を安定させるため、約10分間浄水を通水しながら、浄水カートリッジを上下にひっくりかえしてください。
5. 接続ホースと水栓、浄水カートリッジの接続部から水漏れがないことを確認してください。

3. ストレーナー付パッキンの掃除

一般地用の場合

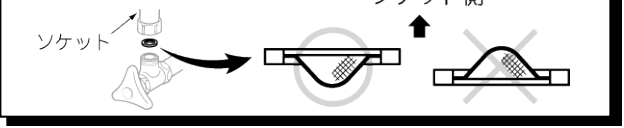
1. 止水栓を閉じる。（右いっぱい回す）
2. ストレーナー付パッキンのゴミ等を歯ブラシなどで洗剤を使わずにこすり落とす。



3. ソケットを止水栓に固定する。

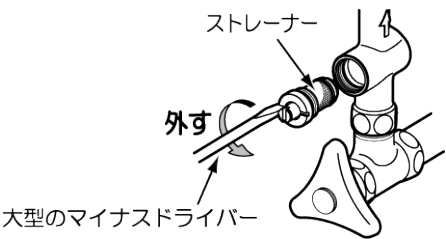
注意

●ストレーナー付パッキンの向きに注意してください。
※正しく取り付けられていないとゴミが詰まりやすくなり、流量が少なくなることがあります。



寒冷地用の場合

1. 止水栓を閉じる。（右いっぱい回す）
2. ストレーナーを取り外し、ゴミ等を洗い流す。



4. 取扱説明書・施工説明書・浄水カートリッジ・接続プラグについて

この施工説明書は同梱の「ご愛用フォルダー」に入れて、取扱説明書、浄水カートリッジとともにお客さまにお渡しください。
※浄水カートリッジは装着しないでください。
※接続プラグは、浄水カートリッジ交換時、および浄水カートリッジをご使用にならない場合に使用しますので、大切に保管してください。

4. 引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

●故障と点検			
※点検箇所は下図を参照してください。			
現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	止水栓は十分開いているか？		止水栓を十分開く。
	接続ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしていないか？	①	ホースの折れ曲がり、ねじれがあれば取り除く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	⑤	ゴミ等を水で洗い流す 「ストレーナー付パッキンの掃除」の項参照。
流量が多い	止水栓は調節されているか？		「流量調節」の項参照。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②	キズがあれば部品を交換する。
接続部から漏水する	接続部にキズ、ゴミかみはないか？	③	キズがあれば部品を交換する。 ゴミ等があれば水で洗い流す。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	④	ねじをしっかりと締める。

